

森林官の一日

埼玉森林管理事務所 荒川森林事務所 吉岡 哲也

当年度実行の収穫調査や工期調査等といった作業が終了し、今は一段落といった感じですが、今後は巡検・次年度分の収穫調査等のほか、埼玉森林計画区は予備編成の年でもあることから、林況の調査、森林調査簿・基本図等の整理及び分収造林の契約相手方との調整等色々あります。

当所管内の国有林は、その殆どの地形が急峻な中で、担当区には比較的緩やかな箇所もあり、体験林業等の場として利用されていることから、昨年度に実施した体験林業（NPO団体との協定による森林整備）について紹介したいと思います。

上水道の取水施設がある森に植樹したいとの要望があり、NPO団体と「針広混交林の森づくり」の協定を締結し、植樹等を実施することになりました。

内容は、ケヤキ、シオジ等の広葉樹苗一〇〇本の植栽、トチの種子の直播き及び近年シカの害が増加していることから食害防止ネットの設置です。



国有林の概要等の説明

このイベントを実行するにあたり、現場の現状を把握しイベント参加者が安全に作業できる状態にすることが重要となります。

関係者との打合せの際に、参加者の年齢や体力等を考えて作業場所を選定します。

参加者は、地元中学校、高校の生徒、地元のボランティア、地方公共団体の人達です。



植栽・食害防止ネット設置の作業状況

体力のある高校生には一番上部の急傾斜地、年配者や体力に自信がない方には一番下部の比較的傾斜が緩やかな場所、中学生等はその間を実施していただく等、現地を知っている森林官は作業の配置等にも気を配らなければなりません。

事前に歩道等の整備や枯れ木の除去等の危険因子を除去し、当日の安全作業に備えます。もちろん森林官だけではなく所及びNPO団体等のスタッフも事前の準備、打合せと一緒に実施します。

イベント当日は、無事に終了するよう祈る気持ちで現地の説明、作業内容及び安全に作業するための注意等を説明します。

作業中も全体を見回し、危険な行



作業手順及び注意事項の現地指導

動には厳しく注意します。作業が終われば参加者もスタッフも達成感でホッとしますが、車に乗るまで気が抜けません。終了後は、反省点等を報告し、今後に活かすようにしていきます。

18年度も引き続き同様の作業を実施する予定ですが、今年もケガのない様に事前の準備を怠らないように心がけ、実施したいと思っています。

今後も、こうしたイベントを通して、地元NPO団体、地方公共団体等と共同で企画・立案・実行し、意見・情報の交換をしながら、市民に森林の持つ機能等をPRすること及び国有林が果たす役割等を理解して頂く機会を作っていきたいと考えています。